






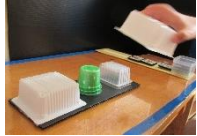


<p>【教材・教具名】 丸や四角の分類</p>	<p>【教科・領域】 自立活動</p>
<p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 丸いカップ(プリンカップなど)  <ul style="list-style-type: none"> ・ 四角形のカップ(豆腐などの空き容器)  <ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック段ボール ・ 瞬間接着剤 	<p>【購入場所】 スーパーの食品売り場 ホームセンター 100円ショップ</p>
<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形や大きさの違いに気付く。 ・ 主体的に学習に取り組む。 	
<p>○使用方法</p> <p>①二種類の丸いカップを重ねる。</p>  <p>②大小の向きを変えた教材を提示し、カップを重ねる。</p>  <p>③二種類の四角形のカップを重ねる。</p>  <p>④大小の向きを変えた教材を提示しカップを重ねる。</p>  <p>⑤丸と四角のカップを重ねる。</p> <p>⑥丸が一種類と四角が二種類あるカップを重ねる。</p>   <p>○工夫した所</p> <p>学習段階を考えて教材を作成した。 児童が形の違いに気付けるように、同じ形の物でも色合いが違う物にした。</p>	
<p>○効果</p> <p>丸は、見てすぐに大きさの違いが理解でき、課題を達成できた。四角形も形の違いに気付いて達成できた。そこで、カップの向きを変えて提示した。初めは、混乱したが、カップを繰り返し重ねて、根気強く試行錯誤をしながら、課題を達成することができた。現在、⑥の教材を学習している。</p>	
<p>○参考</p> <p>文献・URL</p> <p>知的障害のある子への文字・数前の指導と教材 大高正樹著 明治図書</p>	